

JPNIC RPKI 機能のご利用条件

本文書は、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(以下、JPNIC と呼ぶ)の提供する RPKI (Resource PKI)のご利用にあたっての条件を記載したものです。利用者は、本機能が試験的な提供であることを理解し、これらの条件に従ってご利用ください。

記

1. JPNIC が提供する RPKI 機能とは

JPNIC の RPKI 機能は、RPKI の提供に必要なシステム(以下、RPKI システム)と、必要な電子証明書などの電子署名が付与されたデータの正当性を担保するための、仕組みと業務によって構成されます。利用者には以下の三つを提供いたします。

- ・ リポジトリ
JPNIC が発行するリソース証明書などの電子証明書や ROA などの電子署名が付与されたデータを公開するサーバです。下記の ROA Web を通じて発行されたリソース証明書や ROA などこのサーバを通じて公開されます。
- ・ ROA Web
利用者が Web インターフェースの操作を通じてリソース証明書と ROA の発行および失効の操作を行うことのできる Web サービスです。本来、ROA の発行は、リソース証明書の発行を受けた利用者が私有鍵を生成し、その鍵を使って行う必要があります。ROA Web ではこの鍵の管理を JPNIC が代行します。また発行されたリソース証明書や ROA などの公開についても同様に JPNIC が代行して行います。
- ・ BPKI 接続(Business PKI 接続)機能
RPKI の利用者によって用意された RPKI システムを、JPNIC の RPKI システムに接続する機能です。必要な鍵管理やリソース証明書及び ROA の公開は利用者によって行われます。

2. 禁止事項

RPKI 機能のご利用に際し、利用者は次の行為を行わないものとします。

- ・ 第三者もしくは JPNIC の不利益もしくは損害を与える行為、またはその恐れのある行為。
- ・ 公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為。
- ・ 犯罪行為もしくは犯罪行為に結びつく行為、またはその恐れのある行為。
- ・ 第三者もしくは JPNIC に有害なプログラムおよびデータの使用もしくは提供する行為、またはその恐れのある行為。
- ・ その他、JPNIC が不適切と判断する行為。

3. 免責事項

JPNIC は RPKI 機能に必要なシステムの正常な運用、および、リソース証明書をはじめとする電子署名が付与されたデータの正当性の担保に努めますが、JPNIC の判断により RPKI システムの運用を一時中止し、利用できなくなる、また期待された結果が得られなくなることがあります。JPNIC は、利用者が発生した損害及び他の第三者が被った損害につき、一切の責任を負わないものとします。

- ・ リポジトリ
事前の通知なく運用が一時中止され、公開されているデータへのアクセスができなくなることがあります。
- ・ ROA Web
RPKI システムに格納された私有鍵の機密性・完全性が担保できなくなることがあります。

- ・ BPKI 接続機能

正常な接続または関係動作ができなくなることがあります。

RPKI システムは APNIC で運用されているシステムと関係しており、その影響を受けることがあります。

4. ご利用条件の変更

JPNIC は、必要と認めるとき利用者への事前の通知を行うことなく本文書を変更することがあります。変更後に RPKI システムを利用される場合には、変更後のご利用条件が適用されます。なお、利用者への事前又は事後の通知は、以下の方法で行われるものとします。

- JPNIC リソース PKI Web ページ (<https://www.nic.ad.jp/ja/rpki/>) への掲載

5. トラストアンカーの確認

RPKI システムのご利用にあたって、利用者は必ずトラストアンカーが正しいものであることを確認することとします。また、この確認は利用者の責任において行うものとします。

以上